

新しい契約

知っておきたいキリスト教のことば (8)

わたしたちが使っている聖書は、「旧約聖書」と「新約聖書」とからなっています。この漢字をよく見てみると、旧訳や新訳、つまり訳が古いか新しいかということではないことがわかります。「約」は「契約」の「約」であり、新約聖書



とは、新しい契約が記されている聖なる書であると考えることができます。

さて、この「契約」ですが、聖書の中では神さまと人間との関係をあらわす語として大変重要です。旧約聖書では「ベリット」というヘブライ語が「契約」を意味する語ですが、この語はアラビア語の「切り刻む」が語源であるという説があります。契約を結ぶ時に動物を切り裂いたことからそう考えられているのですが、日本語の「指切り」にも通じるところがありそうで、興味深い言葉です。

さて、旧約聖書の中には様々な契約が出てきます。その中でも大きなものとして、出エジプト記 24 章にある「シナイ契約」が挙げられます。この契約においてヤハウェ（神さま）はイスラエルの神となり、イスラエルを守り導く。また、イスラエルはヤハウェの民となって、ヤハウェの戒めを守るといふ契約が結ばれました。しかし、イスラエルの民は、何度も何度もその戒めに背き続けたのです。

そこで神のみ子イエス・キリストが登場するわけです。イエス様はイスラエルの民だけでなく、わたしたち全人類が再び神さまと正しい関係になるように地上に生まれ、十字架に向かわれました。イエス様の血によって、つまり十字架の死によって制定されたのが神さまとの新しい契約なのです。

パウロは、新しい契約は罪の赦しをもたらすと伝えました。わたしたちには新しい契約が与えられています。聖餐をいただくたびに、その恵みに感謝したいと思います。

今回は「アドヴェント」です。お楽しみに。